

「私自身が信用を非常に失っている」と告解するも、「第三者」と「精査」の2つの言葉で5月20日、2時間15分52秒の会見を乗り切った「東京都知事」。「いやあ、政治家になるといふのは、これだけタフなハートがないと無理や」。ダウンタウンの松本人志氏が皮肉交じりに驚嘆したのも宜なる哉。

無論、「第三者」が改めて「精査」する迄も無く、市井の反応は「納得出来ない」「辞任すべき」が9割を超える勢い、と各種メディアは喧伝。2012年12月、

連載

第28回

2014年2月に続いて僅か3年半で3回も新たな都知事を選任する常軌を逸した事態もものかは、巷には「リセット」願望が横溢し、立候補予定者を値踏みする報道も連日連夜、相次いでいます。

7月10日が投開票日と想定されている参議院議員通常選挙と同時に東京都知事選挙が実施されるのではと、街の噂も囁ましい日々。僕は5月23日、国分太一氏と真矢ミキ嬢が進行するTBSテレビ

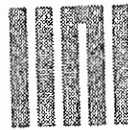
ささやかだけど、
たしかなこと。

田中康夫

You are the Hope for Tomorrow.

「第三者」の「精査」に逃げる舛添都知事 「辞めない・辞めさせられない」3つの理由

レイアウト——宗利澤—デザイン



「白熱ライブビビット」に生出演し、「辞めない・辞めさせられない」3つの理由を絵解きしました。1つ目は「都議会」。2年4ヶ月前の都知事選挙で、自由民主党東京都連、公明党東京都本部、連合東京は、新党改革の前代表の候補を支援しました。無所属系以外の大多数の都議会議員が現時点でも黙して語らぬ状態なのは、先頭に立って「正義」を振り廻すや、「製造物責任」のブーメランが直撃するからです。

6月1日開会の東京都議会定例会では舌鋒鋭く追及して

も、不信任決議が上程される可能性は限りなくゼロ。法的拘束力を伴わぬ問責決議が可決する程度で15日間の会期を終えるでしょう。因みに過半数で可決する問責決議と異なり、地方自治法で規定された不信任決議は、3分の2以上の議員が出席し、その4分の3以上の賛成が必要。可決されると首長は10日以内に辞職するか、議会を解散せねばなりません。

思い起こせば2002年7月5

日、長野県議会は不信任決議を僕に突き付けました。「県民の生命や財産を守ることよりも自己の理念の実現を優先させ、市町村長や県議会との合意形成を軽んじ、

「県政の停滞と混乱を招き、多くの県民の期待を裏切る結果となった」との事由で。その10日後に僕は自動失職。57年前が敗戦記念日の8月15日が告示日、同じく79年前に関東大震災が発生した9月1日が投開票日の出直し知事選で再選されました。

「富すれば鈍する」「地位は人を駄目にする」。新しい格言を創出した元東京大学助教授は、無欲恬淡な出処進退とは真逆の吝嗇家な御仁。追い込まれたなら、都議会を解散する蓋然性が高く、それは来年7月が任期満了の都議会議員にとっては不測の事態。精々が問責決議で終わる根拠です。

2つ目は「東京五輪」。都知事選が参院選と同時に実施された場合、4年後の2020年7月24日から8月9日の東京オリンピック、同年8月25日から9月6日の東京パラリンピック、その直前に

「次期」都知事は改選を迎えます。問題山積な五輪開催に賛成・反対・無関心を問わず、有り得ない選択だと誰もが頷くでしょう。

3つ目は「リコール」。辞職の「匕首」を都議会が突き付けぬなら、意識高い系、都民が勇躍蜂起せよ、との発言がインターネット上で飛び交っています。が、50CCバイクに跨って震災ヴォランティアに従事した経緯から、神戸市営空港建設の是非を問う住民投票ムーブメント

の代表世話人を務めた僕は、有権者1060万人の東京都で133万人もの「リコール」有効署名が集まるとは到底、思えません。詳述します。

震災で親族を亡くし、自宅の二重ローンに苦しむ市民は、至近距離に2つの空港と新幹線、高速道路が整備されているにも拘らず、建設予定地の埋立費用のみでも優に3千億円を超える巨額公共事業に、地元紙の調査でも7割以上が「反対」していました。日本の未来を憂慮し、日本の政



治に絶望し、故に特定の支持政党なしと世論調査で回答する「ウルトラ無党派層」にとって、これは日本のあり方を問う「イデオロギー」とは無縁の新しいムーブメントだと僕は直感したのです。同様の「勘性」を持ち合わせていた「週刊文春」編集部は4頁の寄稿の機会を2度に亘って僕に与え、「朝日新聞」の「天声人語」氏も都合8回に亘って触れてくれました。斯くて有権者125万人の街で

30万7797筆もの有効署名を神戸市選挙管理委員会が認定した住民投票の直接請求。けれども、民主党や社民党も空港推進派だった市議会でも否決されます。

その神戸市と異なり、自らの手を汚さずに解職可能な今回は都議会も可決するかも知れません。署名収集期間が1ヶ月の市区町村と異なり都道府県は2ヶ月。前回の知事選で投票所に足を運んだのは493万人。その27%が署名すれば「リコール」成立。楽勝だと思われるかも知れません。

何々。電子署名は不可。署名簿に名前・生年月日・住所・捺印が押印が必要。署名簿は23区・26市・5町・8村の計62市区町村毎に異なり、受任者と呼ばれる署名収集者は基礎自治体毎の登録。有楽町駅前での署名収集時、千代田区と中央区の受任者2人だけだったなら、買い物に出掛けてきた八王子市や大田区の有権者は署名不可能。更に公職選挙期間中は署名収集不可。至難の業です。

「辞めさせられない」3つの理由の上で、元国際政治学者は胡座を掻いています。元検事の「第三者」が「精査」した結果を国民に報告するのが男の美学と大見得を切つて早4ヶ月、未だ雲隠れを続ける経済財政政策担当の元・内閣府特命担当大臣と違って逃げ隠れしない自分は誠実だ、と言いつい出しかねぬ彼への追い風です。

サミット前日に11回目の結婚記念日を迎えたカナダのジャスティン・トルドー首相は、日本旅館での妻との祝杯をポケットマネーで挙げ、拍手喝采を浴びました。嗚呼、ここにも彼我の違いが……。